



フランネルフラワーやトルコギキョウなどをあしらった花束作りに取り組む親子＝大垣市室本町、スイトピアセンター

親子仲良く 花束作り

大垣で食農体験

県産フランネルフラワーを活用

素朴でかわいらしくブライダルでも人気を集める県産の花「フランネルフラワー」をPRする親子食農体験が20日、大垣市室本町のスイトピアセンターで開かれ、幼児から小学

生までの親子連れら約40人が花束作りなどに取り組んだ。

岐阜新聞社が主催。県内農業の応援が目的で、使用した花材はJ A全農岐阜から提供を受けた。フランネルフラワーはオーストラリア原産のセリ科の植物。白い花びらの先端に緑の模様が入っているほか、茎や葉に細かい毛が密生した柔らかな手触りが特徴。県内全域で栽培されており国内で流通するほぼ全てが岐阜県産となっている。

この日は生産農家でぎふフラワー研究会の会長を務める若原成行さん(60)＝揖斐郡大野町下方Ⅱがフランネルフラワーの魅力や育て方などを紹介。参加者は花びらをあしらったジェルキ

ヤンドルを制作したほか、フランネルフラワーや県産のトルコギキョウなどを取り合わせた花束作りにも挑戦。親子で語らい楽しそうに取り組んでいた。